

令和 6 年度 第 4 回浜松市立中郡中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2025 年 2 月 18 日(火) 14:00～16:15
2. 開催場所 浜松市立中郡中学校 会議室
3. 出席委員 高井 昭、本間 義章、稲鶴 治夫、村木 富代、川島 博美、
小杉 敬治郎、河合 洋子、加藤 大詞
4. 欠席委員 杉本 泉
5. オブザーバー 小池 誠(積志協働センター)
6. 学校 高橋 基(校長)、川合 公孝(教頭)、鈴木 彰弘(教務主任)、
鈴木 祥紘(生徒指導主事)、佐藤 彩乃(CSD)
7. 教育委員会 清水 悠(教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 協議事項
 - (1) 学校関係者評価の実施
 - ①学校が自己評価の結果について説明
 - ②学校の自己評価を受け、今後の改善策について評価
 - (2) 令和 7 年度の学校運営の基本方針の概要説明
 - ①学校が令和 7 年度の学校運営の基本方針について説明
※学校いじめ防止基本方針に基づく取組状況や目標達成状況を含む
 - ②学校の説明を受け、学校教育目標・目指す子供像・つきたい力・重点項目等が、実態を踏まえた方針となっているか熟議する
 - ③令和 7 年度の学校運営の基本方針について委員の承認を得る
 - (3) 学校運営協議会の自己評価
 - ①事前にいただいた委員個々の意見をまとめたものをもとに、協議会としての結論を作成する
10. 会議録作成者 CSD 佐藤 彩乃
11. 議長の選出
議長の選出については、前回の会で決定していた通り、高井会長に川合教頭が依頼、全員異議なくこれを承認した。
12. 会議記録
司会の川合教頭より、委員総員 9 人中、8 人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。
 - (1) 学校関係者評価の実施
 - ①学校が自己評価の結果について説明
鈴木教務主任より、学校関係者評価の結果について説明があった。また、鈴木生徒指導主事より、中郡中学校いじめ防止基本方針に関して説明があった。

- ・校訓・学校教育目標に関わる項目としての数値は高く、多くの生徒が友人や職員と友好な関係を築きながら充実した学校生活を送っていると考えられる。
- ・学習面では、基礎的な内容が身につけていると感じている生徒は多く、全国学力学習状況調査の結果もそれに伴ってはいるが、家庭学習の定着には課題があり、今後タブレット PC を活用し、充実に繋げる仕組みを整えたい。
- ・生活面では、挨拶やルールを守ることができていると感じている生徒が多いが、道徳の授業に関して家庭へ浸透していない現状。読書に関しては、アンケート対象者すべてにおいて数値が低く、図書室の環境整備や開かれた空間作りに努めることが課題。
- ・ゲームや SNS の使い方について、マナーや時間が守られていないと感じられる。モラルやスキルを身につけるために外部機関の講座を活用したい。
安全面では、幼小中の連携を大切にし、地域の方と積極的に関わりを持ち、地域全体で生徒を見守る体制を作っていきたい。
- ・いじめに関しては、学校 HP に掲載されている「中郡中学校いじめ防止基本方針」に則り対応している。件数としては増加しているが、積極的に認知した結果のため肯定的に捉えられるものである。組織で対応できるよう協議・研修を行い、職員の周知徹底、理解を深め、未然防止・早期発見・対応に努めている。生徒の気持ちに寄り添うよう努め、多くの事案が解消に向かっていく。毎学期にいじめアンケートの実施、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、関係機関と協力して生徒を見守る環境を整えている。（鈴木生徒指導主事）

②学校の自己評価を受け、今後の改善策について評価

- ・アンケート項目 23、24、25 において先生方が、生徒や保護者から好意的に受け取られていることは、教員として誇らしいことなので自信を持っていいところだと思う。（高井会長）
- ・読書についての数値を上げるために、図書室で過ごす時間を作ったり、入りやすい環境を作ったりして、本を身近に感じられる場所にしてみてもどうか。（村木委員）
- ・どのジャンルの本に興味があるか調べるのも一つの方法かもしれないが、本に代わる興味深いものがあることを考えると本離れも仕方ないのかもしれない。固執する必要もなくなってきたのではないか。（小杉委員）
- ・挨拶がとてもよくできている。地域が繋がる一番の要素なので、大事にしてほしい。（河合委員）
- ・いじめ対策として、相手のことを思いやることや、コミュニケーション力向上が大切である。（高井会長）
- ・道徳についての項目は、生徒と保護者の受け取りが真逆である。質問の仕方に問題があるのではないか。（川島委員）

- ・道徳の授業に関する質問は、授業としてではなく、道徳的価値観や尊重されるものとして問うのはどうか。(河合委員)
- ・SNS については大人も関係する問題であり、大人にも責任があると感じる。(本間委員)
- ・SNS は文字だけのやりとりになるので、感情や受け取り方、対応の仕方、相手を思いやれる使い方を学べるといい。(川島委員)
- ・全国学力学習状況調査の結果が高かったのは、職員の努力の賜物である。維持できる指導を継続していただきたい。来年度もグランドデザインとリンクしているような質問や項目を考えられるよう検討していく。(高井会長)

(2) 令和 7 年度の学校運営の基本方針の概要説明

①学校が令和 7 年度の学校運営の基本方針について説明

高橋校長より、令和 7 年度の学校運営の基本方針について、スライドを用いた説明があった。

- ・「校訓」と「教育目標」を実現するため「充実」と「誠実」がキーワードとする。
 充実：学校における「子供の活動」や「職員の働き」
 誠実：職員の職務に対する姿勢
- ・充実を感じて日々送れると、満ち足りていき、自分に誇りを持つことで、自他互いの存在を認め、尊重し、大切にできるようになる。
- ・「学・心・命」の分野として、専門性を有する授業の学びを大切にする。多様な価値と触れ合い、認める。日常生活で運動・食育などから自他の健全な過ごしを意識し、防災防犯から命に関わることについての意識を高めていく。
- ・浜松市の教育理念に基づくコンセプト「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」を大切し、中郡中学校に『なつてほしい姿』を実現させていく。
- ・学校を支える基盤として、学校運営協議会、地域と信頼につながる温かみのある関係性を築いていきたい。

②学校の説明を受け、学校教育目標・目指す子供像・つきたい力・重点項目等が、実態を踏まえた方針となっているか熟議する

- ・委員に対して学校のことについて伝えてもらえると、地域とともに創る・育むグランドデザインにより近づけるのではないかと。(本間委員)
- ・授業やその他の活動においてアイデアや専門的な知識が必要な場合は、地域として力になれることがあるのではないかと。(高井会長)
- ・今までは応援団という形でいたが、委員と一緒に考えてみる、一歩進んだ参画ができれば、お互いにコミュニケーションをとれることになるし、よりよい関係性を築けるのではないかと。(河合委員)

- ③令和 7 年度の学校運営の基本方針について委員の承認を得る
全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

①委員個々の意見をまとめて協議会としての結論を作成する

《評価項目 1》について

- ・校長より令和 6 年度のグランドデザインの説明をしていただき、学校教育目標等を共有し、学校・地域・家庭がともに子供を育成する基本方針を理解することができた。
- ・キャリア教育の重点として「読解力・コミュニケーション力」の育成を進めるために地域人材の協力が大きな力になることを再確認できた。
- ・中郡中の生徒たちが自分自身や地域に誇りをもって成長していけるように忌憚らない意見交換ができた。

《評価項目 2》について

- ・生徒・保護者・教員のそれぞれの視点で学校評価のアンケート項目を考えることで、学校や地域が求める生徒像や学校像について、具体的な姿として捉えるよい機会となった。
- ・各学年の総合的な学習の時間では地域の方が多数参加し、充実した活動になった。課題と反省点についてはグループ討議をして次年度につながる熟議ができた。
- ・具体的な支援活動が示され、全員でよりよいものにしていこうという機運が感じられ、よい熟議の場になった。

《評価項目 3》について

- ・学校 HP に協議会の議事録を掲載しているので、協議内容を一般の方々にも知っていただくことができた。また、新たに決まった学校支援コーディネーターの尽力により、CS だより「つながり」が発行されて地域に回覧されるようになったため、運営協議会で行っている協議や学校支援の様子を発信することができるようになった。

《評価項目 4》について

- ・総合的な学習の時間の充実に向けた地域人材の活用は今後さらに必要となってくる。協議会として、地域との連携促進のためのシステム構築を検討していきたい。
- ・休日部活動の地域クラブ活動への移行について、今後の動向に不安を感じている保護者や児童生徒が多数いることが予想される。中学校の運営協議会として、スムーズな移行のためにどのような支援ができるか、課題として取り組んでいく必要がある。
- ・学校の意向をふまえて意見が言え、よりよい協議会になるように努めたい。子供た

ちが「地域を愛し、地域を誇れる」ように取り組みたい。地域は子供・学校の応援団としてできることをしたい。

オブザーバーからの意見

- ・地域として協働センターが参画したり、中学生が地域で活躍できる場として協働センターが存在したりするよう、来年度以降も協力していきたい。(小池氏)
- ・市として視野を広く持ち、いろいろな意見をいただくことを大切にしていきたい。河合委員からの「一歩進んだ参画を」という言葉はありがたい。今後も引き続きお願いしたい。(清水氏)

連絡事項

(1) 夢育やらまいか CS 加算分の報告

川合教頭より、夢育やらまいか CS 加算分について有効活用した旨の説明があった。

(2) 協議会委員の継続・退任・後任について

川合教頭より、協議会委員の継続・退任・後任について説明があった。(継続 7 名、退任 2 名。後任の 1 名は来年度 PTA 会長、1 名は調整中。)

(3) 卒業式・入学式のご案内

川合教頭より、3 月 18 日(火)に行われる令和 6 年度卒業証書授与式、4 月 8 日(火)に行われる令和 7 年度入学式について、出席の依頼があった。

(4) 令和 7 年度の開催予定日

川合教頭より、令和 7 年度学校運営協議会の開催予定日について、報告があった。

回	月 日	回	月 日
1	5 月 1 日 (木)	2	6 月 26 日 (木)
3	11 月 25 (火)	4	2 月 17 日 (火)